

事業名：公民館管理運営事業

【事業番号 423】  
生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	89,466	90,501	91,082	93,685
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、地域に密着した社会教育の中心施設となる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	利用者数	人	228,889	219,932	198,485	222,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	92,507	93,065	93,185	95,875
正職員人件費 (B)		千円	1,905	1,907	1,922	1,935
総事業費 (A+B)		千円	94,412	94,972	95,107	97,810

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設及び物品の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 91,082千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

- ・平成元年 中央公民館開設
- ・昭和59年 野幌公民館開設
- ・平成9年 大麻公民館開設

**事業を取り巻く環境変化**

- ・平成18年度から指定管理者制度を導入
- ・施設の老朽化
- ・市民の学習ニーズの多様化

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>・令和元年度は新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数は目標値を下回ったが、指定管理者制度の導入により、運営管理と事業企画、実施が総括的に行われ、現状を維持している。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>・平成18年度から指定管理者制度を導入しており、今後も民間の能力やノウハウを活用しながら、適正かつ効率的な運営管理と市民ニーズに合った事業を実施していくことで、市民サービスの向上が期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>・指定管理者制度の導入により、コスト意識は高まっている。施設の老朽化が進む中、コスト削減は難しいが、今後も指定管理者との協議調整の中で、管理運営の工夫・改善を含めた効率性を追求していく。</p>		

事業名：旧町村農場管理運営事業

【事業番号 435】  
生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	7,486	7,486	7,552	8,351
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	来場者数	人	6,011	6,503	8,420	6,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	7,686	8,098	8,293	8,631
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,537	1,548
総事業費 (A+B)		千円	9,210	9,623	9,830	10,179

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 7,552千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
平成2年頃から旧町村農場近郊の市街化が進み、平成4年に農場の篠津地区への移転が決定。農場の移転に伴い、当市を代表する歴史的建造物として次世代へ継承することを目的に、旧農場の保存整備が始まった。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> <li>・平成20年度から指定管理者制度を導入</li> </ul>

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <hr/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <hr/> <p>上がっていない</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>▶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制の導入により、施設管理と事業運営が総括的に実施され、良い意味で現状は維持している。</li> <li>・閉館期間が4月29日～11月23日であり、新型コロナウイルスの影響を受けることなく、令和元年度の入場者数は29%増加した。鳶屋書店の開店による影響と考えられる。</li> <li>・引き続き自主事業の工夫に加え、施設自体のPRに努める。</li> </ul>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <hr/> <p>成果向上余地 中</p> <hr/> <p>成果向上余地 小</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>▶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の保全、イベントの開催、研修室の利用等について総括的に市民にPRすることで、集客数を向上させる余地はある。</li> </ul>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <hr/> <p>なし</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>▶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度からの指定管理者制度導入により、コスト意識は高まっている。今後も指定管理者との協議の中で、管理運営の改善、工夫を含めた効率性を追求していく。</li> </ul>

事業名：蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1 65歳以上の市民の数	人	34,645	35,415	36,162	36,162
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

高齢者の学習機会として、蒼樹大学を開催する。  
5～3月に毎月1、2回学習会開催

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1 講座開催数	回	62	54	60	61
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）




高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域社会で生かすことのできる知識や技術を獲得する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1 学生数	人	134	145	161	162
成果指標 2 出席率	%	80	82	83	82

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)	千円	638	536	567	501
正職員人件費 (B)	千円	1,905	1,907	1,922	1,935
総事業費 (A+B)	千円	2,543	2,443	2,489	2,436

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
元年度	・午前は現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座、 午後は選択制の専攻講座（コーラス、太極拳、園芸、 ふるさと学、絵手紙、体操）を実施。	蒼樹大学開催に係る費用 567千円

事業開始背景
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和47年5月、高齢者に教育の機会を提供し、各種教育活動を通じて、身体的能力及び精神的機能を維持増進させ、生きがいを得ることによって老齢期の充実した人生を送ることができるようにすることを目的に開設。</li> </ul>
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進む現代では、生きがい提供の場としてだけでなく、高齢者が積極的に社会参加しまちづくりの一翼を担う存在となることが理想である。</li> </ul>

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由 根拠  <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者への学習機会が提供され、様々な形の仲間作りやコミュニケーションが図られている。</li> <li>・地域への参加を目的としている班活動は、より積極的な活動になってきており、在学生のまちづくりの意識の向上につながっている。</li> </ul>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由 根拠  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流活動を自ら企画・実施する場である班活動の実践は、地域社会へ学習の成果を還元するひとつの形となっている。</li> </ul>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠  <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要最低限の経費の中で、地元の講師に依頼するなど工夫をしている。</li> </ul>

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	01 生涯学習の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

社会教育の振興・発展を目的とし、児童・生徒の健全育成と幅広い世代間交流を目指す市内の団体及び地域団体等。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	地域交流活動補助対象事業数	団体	18	16	16	18
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、手法）**

社会教育事業や音楽文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき事業費の一部を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	860	734	659	800
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また団体が地域と協働で活動することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	6,780	5,346	7,197	8,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	860	734	659	800
正職員人件費 (B)		千円	762	763	769	774
総事業費 (A+B)		千円	1,622	1,497	1,428	1,574

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
元年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進を目的とする市内の団体などが、学校や地域と連携して自主的に企画・運営する青少年健全育成事業及び青少年音楽振興事業等に対し「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流促進事業補助金 659千円

**事業開始背景**

平成29年度から「青少年ふれあい交流促進事業」と「発表の場拡大事業」を統合したもの。  
 「発表の場拡大事業」は、芸術文化活動団体が日頃の活動の成果を発表する際の会場使用料を対象に補助金を交付してきたものであるが、活動の発表のみではなく、地域の児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流を図った上での活動として促進するため、「青少年ふれあい交流促進事業」に統合した。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・平成18年度から社会教育事業と文化振興事業の統合を図った。
- ・平成27年度から青少年ふれあい交流事業と子どもを見守る地域ふれあい事業を統合。
- ・平成29年度から青少年ふれあい交流促進事業と発表の場拡大事業を統合。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
	上がっていない	
申請団体の固定化という課題はあるが、新たな団体からの申請もあり、平成29年度に二つの補助金を統合したことによって受入間口のひろがりにつながっている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	<b>成果向上余地 中</b>	
	成果向上余地 小	
平成29年度に二つの事業を統合したことで受入間口がひろがり、多種多様な団体の支援につながっている。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	<b>なし</b>	
課内の同様事業の統合により交付業務は軽減されたが、補助金要望額の合計は予算金額を超えている現状であり、コスト削減は難しい。		



事業名：えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象(誰、何に対して事業を行うのか)**

高校生以上の市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	高校生以上の市民	人	104,414	104,568	104,992	104,992
対象指標 2						

**手段(事務事業の内容、手法)**

- ・市内4大学との共催で行う連携講座「ふるさと江別塾」の開催。
- ・市内4大学や社会教育関係団体が主催する市民向け講座と連携し、市主催の講座を含めて「えべつ市民カレッジ」として位置付け総合的に学ぶ機会を提供する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	連携団体数	団体	6	6	6	6
活動指標 2						

**意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)**

知的資源を有する市内4大学等と連携し、様々な市民の学習要求に応えることにより、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える環境をつくとともに、まちづくりの身近な地域課題に対する気づきの機会も提供されている。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	えべつ市民カレッジ講座数	講座	155	191	208	200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	1,208	194	194	183
正職員人件費(B)		千円	2,666	2,669	2,690	2,709
総事業費(A+B)		千円	3,874	2,863	2,884	2,892

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4大学と連携を図りながら、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。</li> <li>・ふるさと江別塾に加え、各大学等で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置づけ、総合的に市民へ提供する。</li> <li>・受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと江別塾開催に係る経費 143千円</li> <li>・えべつ市民カレッジ受講シール、称号授与に係る経費 51千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は各大学が独自の日程や内容により、各種講座を公開していたが、開催日時の重複や、受講を希望する市民から調整の要望があった。</li> <li>・平成12年度から、市内の4大学と市の共催により「ふるさと江別塾」を開催した。</li> <li>・平成26年度からは、市が市内4大学で開催している市民公開講座と連携し、それらの講座を「えべつ市民カレッジ」と位置付け、総合的に市民へ学ぶ機会の提供を開始した。</li> </ul>
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各大学において、教育の振興や地域社会の発展を目的とした産学官連携・地域貢献の意識が高まっている。</li> </ul>

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：コミュニティセンター管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

コミュニティセンター

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	16,537	16,593	16,670	17,080
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	利用者数	人	176,663	94,709	138,060	150,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	16,537	16,593	16,670	17,080
正職員人件費 (B)		千円	1,143	1,144	1,153	1,161
総事業費 (A+B)		千円	17,680	17,737	17,823	18,241

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
元年度	・ 指定管理協定の締結	・ 指定管理料 16,670千円

事業開始背景
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成元年 コミュニティセンター開設</li> </ul>
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>18年度から指定管理者制度を導入</li> <li>施設の老朽化</li> </ul>

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由 根拠</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度の導入により、効率的な運営管理が実現され、利用者ニーズに柔軟な対応が可能となっている。</li> <li>平成30年度は、地震の影響もあって利用者数が大幅に減少したため、令和元年度の利用者数は増加した。新型コロナウイルスによる休館期間があったにも関わらず、利用者数については安定しており、現状を維持している。</li> </ul> </p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由 根拠</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度の導入により一定の成果が見られる。今後も、斬新な事業企画により、利用者ニーズに合った市民サービスの向上が図られる余地はある。</li> </ul> </p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由 根拠</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度からの指定管理者制度の導入によりコスト意識は高まっている。施設の老朽化が進む中、コスト削減は難しいが、今後も、指定管理者との協議調整の中で、管理運営の改善・工夫を含めた効率性を追求していく。</li> </ul> </p>

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市女性団体協議会、江別市PTA連合会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	補助団体数	団体	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,538	2,638	2,538	2,538
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

それぞれの団体が独立して活動を行うことで、社会教育活動が活性化する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	2,635	2,986	3,185	2,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	2,538	2,638	2,538	2,538
正職員人件費 (B)		千円	3,429	3,432	4,612	4,645
総事業費 (A+B)		千円	5,967	6,070	7,150	7,183

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
元年度	・「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市生涯学習推進協議会」「江別市聚楽学園」への補助金交付	・江別市女性団体協議会への補助金 400千円 ・江別市PTA連合会への補助金 368千円 ・江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円 ・江別市聚楽学園への補助金 770千円

<b>事業開始背景</b>
社会教育認定団体として、社会教育活動の活性化という同じ目的に向かった活動を行っている団体への支援を行う。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
それぞれの団体が担っている役割は大きく、各団体の特徴ある活動は江別の施策に大きく貢献している。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
	上がっていない	
事業への参加者数は増加傾向にある。今後も各分野において継続して事業展開されることで、全市的な社会教育活動の維持に貢献していくものと考えられる。		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	<b>成果向上余地 中</b>	
	成果向上余地 小	
事業内容の見直しや、周知方法の工夫により活動成果の向上が見込まれる。		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	ある	理由 根拠
	<b>なし</b>	
各団体において、事業内容の充実を図りながら最低限の費用で活動を行っており、補助金の削減は団体運営の停滞につながる。		

事業名：家庭教育支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子育て中の保護者、一般市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	小中学校の家庭数	件	7,356	7,169	7,093	7,093
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・市P連と協力して情報モラル講演会の実施
- ・家庭教育支援事業（えべ育カフェ）の開催
- ・家庭教育ナビゲーターの養成

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	事業開催数	回	4	1	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て中の保護者の悩みや不安の軽減に繋がる支援を行う

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	269	174	217	220
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	353	39	219	162
正職員人件費 (B)		千円	1,524	763	1,537	1,548
総事業費 (A+B)		千円	1,877	802	1,756	1,710

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル講演会の開催</li> <li>・えべ育カフェの開催</li> </ul>	家庭教育支援事業開催に係る経費 219千円	

**事業開始背景**

平成28年度までは、未就学児を持つ保護者を対象に学習の機会（青空子どもの広場）を提供してきたが、子育て支援室で行っている事業の充実により、当該事業への参加者が減少傾向にあった。これまで就学児童の保護者に対する学習機会の提供がされておらず、ここを発掘してニーズに応えることにより、子育て環境の充実をはかることとし、平成29年度は、親子向けの体験事業と情報モラル講演会を開催し、家庭の教育力向上に取り組んだ。

**事業を取り巻く環境変化**

平成30年度は保護者向けの学習機会は情報モラル講演会のみで開催となる。  
平成31年からヤング子育て相談事業で行ってきた「えべ育カフェ」を家庭教育支援事業の一環とする。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	